











平成28年度短期海外研修プログラム実施実績

No.	類型	プログラム名	国名	プログラム写真	派遣/連携先機関	期間	日数	プログラム概要	対象	参加人数	単位付与
1	語学研修型	ハンブルク大学ドイツ語サマースクール	ドイツ		ハンブルク大学	8/1-9/1	32	全国から集まる日本人学生約60名、韓国・台湾人学生約40名と1カ月間生活を共にし、ネイティブ講師によるレベル別のドイツ語講座、ドイツ文化体験、歴史的遺産等へのフィールドトリップに参加する。語学力や異文化理解力を身につけ、将来的に地域の国際交流に貢献できる人材やグローバルな環境で活躍できる人材を育成する。	全学 (ドイツ語学習歴が1年以上ある学生)	2	2
2		語学研修(英語)	オーストラリア		サザンクロス大学	8/13-9/11	30	大学附属の語学学校に所属し、ワイルドパークへの訪問、サーフィン体験、地元の学校での現地学生との交流など、広くオーストラリア文化に触れるアクティビティへの参加を通して英語で異文化について学ぶ。滞在中はホームステイを行い、習得した英語を日々の実践により研鑽し、コミュニケーション能力の向上を図る。	全学	13	2
3		語学研修(英語)	アメリカ		ポートランド州立大学	8/18-9/11	25	大学附属の語学学校に所属し、午前中は英会話や発音、ボキャブラリーなど日本人の苦手な点に特化した授業、午後は「アメリカンポップカルチャー」、「ボランティアリズム」、または「ホスピタリティ・マネジメント」のテーマに基づく課外活動に参加する。滞在中はホームステイを行い、習得した英語を日々の実践により研鑽し、コミュニケーション能力の向上を図る。	全学	18	2
4		語学研修(英語)	ニュージーランド		ワイカト大学	8/20-9/11	23	大学附属の語学学校に所属し、午前中のGeneral Englishに加え、週2回は午後IELTS Preparation, EAP skills for university studies, Focus on reading and writingなどの選択クラスを受講する。週23時間の集中講座やホームステイなど、短期間でも集中的に英語力の強化が可能な環境に一定期間身を置くことで、確実に語学力の向上を目指す。	全学	9	2
5		はじめてのタイ語研修プログラム	タイ		スィーバトゥム大学	9/7-9/21	15	午前中はスィーバトゥム大学でタイ人講師による初級タイ語やタイ文化の授業を受講し、挨拶、文化、時間・数、商品と買い物等について、シチュエーション別にタイ語を習得する。午後はテーマ、調査先、調査方法を各自で設定して海外社会調査(基礎)を行い、レポートを作成する。これらの活動や現地学生との交流を通して、コミュニケーション力、異文化理解力に加え、日本人としてのアイデンティティを養う。	全学	10	2
6		語学研修(英語)	オーストラリア		ディーキン大学	2/11-3/5 2/11-3/19	23 37	大学附属の語学学校に所属し、文法、語彙、発音、流暢さ、コミュニケーションスキル、日常の様々な状況で使える実践的英語など、4技能のスキルを総合的に伸ばすための授業に参加する。一人一人の語学レベルに合った9段階のクラスに分かれ、週25時間(自習時間含む)、平均15名の少人数制のインターナショナルクラスで学び、滞在中はホームステイを通して、短期間で集中的な英語力の向上を図る。	全学	11	2
7		語学研修(英語)	アメリカ		ポートランド州立大学	2/16-3/12	25	大学附属の語学学校に所属し、午前中は英会話や発音、ボキャブラリーなど日本人の苦手な点に特化した授業、午後は「アメリカンポップカルチャー」、「ボランティアリズム」、または「ホスピタリティ・マネジメント」のテーマに基づく課外活動に参加する。滞在中はホームステイを行い、習得した英語を日々の実践により研鑽し、コミュニケーション能力の向上を図る。	全学	10	2
8	語学研修型 文化体験・交流型	Summer Enrichment Programme	マレーシア		マラヤ大学	8/21-9/12	23	マラヤ大学が主に日本の学術交流協定校の学生を対象に実施している短期研修。レベル別の英語研修や文化体験、フィールドトリップ、現地学生との交流イベント等への参加を通して、英語力を総合的に強化するとともに、マレーシアの文化・社会について英語で学ぶ。滞在中は現地学生パティと寝食を共にすることにより、両国の相互理解及びグローバル人材としての知識・教養を深める。	全学	17	2
9						2/11-3/5	23			3	2
10	文化体験・交流型	2016 PKNU International Summer School	韓国		釜慶大学校	8/6-8/13	8	釜慶大学校が日本の学術交流協定校の学生を対象に実施しているサマースクール。午前中は韓国語・文化の授業、午後は韓国文化体験や釜山近郊へのフィールドトリップに参加する。授業は英語で行われるが、滞在中は日本語のできる韓国学生がパティとしてサポートしてくれる。日韓学生の密な交流を通して、韓国文化・社会への理解及び両国の相互理解を深め、より広い視野を養う。	全学	3	1
11		2016年度 Korean Summer Session	韓国		東亜大学校	8/7-8/20	14	東亜大学校が日本の学術交流協定校の学生を対象に実施しているサマースクール。全国から集まる日本人学生と共にレベル別の韓国語講座の受講、伝統衣装、音楽、食文化の体験、歴史的遺産へのフィールドトリップ等を行う。東亜大学校の学生パティや日韓学生グループメンバーとの密な交流を通して、韓国文化への理解を深める。	全学	4	1
12		文化交流・産業調査プログラム	タイ		チャンカセム・ラチャパット大学	8/16-8/30	15	日本人学生とタイ人学生が数名ずつでグループを組み、与えられたテーマに基づく産業フィールド調査活動や異文化研修を行う。フィールド調査活動は、複数のワークショップにより段階的に完成度を高め、グループで成果発表を行う。ビジネス日本語学科で学ぶタイ人学生との協働を通して、異文化コミュニケーション力、国際協調性や課題解決能力を養う。	全学	14	2
13	グローバル教養型	日本とASEAN諸国のグローバル人材育成教育比較調査・研究	タイ		アサンプション大学 カセサート大学付属学校 マヒドン大学国際校 マヒドン大学付属学校	2/11-2/25	15	日本とASEAN諸国のグローバル人材育成教育について比較調査・研究を行う課題探究プロジェクトの一環として実施する。タイでは、「ASEANの経済統合」のテーマのもと、高校、大学及び現地企業等を訪問し、同テーマが国際教育にもたらす影響を多角的に捉えて調査・研究、分析することを通して、日本が育成を進める「グローバル人材」やその取組について再考し、現状理解及び課題認識を深める。	国際地域学部 U1 (平成28年度後期「課題探究プロジェクト基礎B」科目履修生)	21	2
14		英語教育サブコース・国際文化系・言語コミュニケーション系海外研修プロジェクト	カナダ		オカナガン大学	2/17-3-31	43	語学研修(ESL授業)による実用的な英語コミュニケーション能力の鍛錬に加え、プロジェクト・ワークや派遣先地域の文化施設等への訪問、先住民族の文化体験、現地の人々との交流等を通して、異文化に対する理解や柔軟な態度・思考を身につけるとともに、異文化体験を通じ、自己や自文化に対する新たな視点を獲得する。	教育地域科学部 U2 教育学部 U1	21	2
15		海外短期研修プログラム	タイ		ラジャマンガラ工科大学	3/5-3/19	15	工学部・工学研究科生向けの短期研修。初心者向けタイ語講座やタイ文化研修及びフィールドトリップ、工学系研究室の見学、現地企業訪問等を通して、工学系人材としてグローバル社会で活躍するための基礎となる知識・教養を身につけるとともに、現地の学生や教職員と主に英語で交流することにより、英語での発信力や異文化理解力の向上を目指す。	工学	2	2
16		グローバル産業人材育成プログラム	タイ		タマサート大学	3/14-3/28	15	タイの文化や社会背景について学ぶ講義、フィールドワークへの参加や、タマサート大学生とパティを組み寝食を共にすることを通して、異文化適応能力を養う。また、パティの協力のもと、日本企業が多く進出するタイの産業経済に関するテーマ調査を行うことで、将来グローバル経済社会で活躍するための広い視野と能力を身につける。	全学	20	2

No.	類型	プログラム名	国名	プログラム写真	派遣/連携先機関	期間	日数	プログラム概要	対象	参加人数	単位付与
17	専門分野型	海外研究機関における基礎医学実習(タイ)	タイ		タイ王国中央胸部疾患研究所 産業衛生環境開発センター	7/9-7/15	7	タイの胸部疾患研究治療の拠点である中央胸部疾患研究所にて労働者へのスクリーニング・サーベイランスの現状を学ぶ。またラヨ州産業衛生環境開発センターにて1次医療現場や工業団地・化学工場の見学を行い、労働衛生に関する取組やラヨ州におけるモニタリングの現状等を知る。これらの活動を通してタイにおける公衆衛生・労働衛生の現状と問題点を理解し、日本の公衆衛生・労働衛生の歴史と現状から比較を行い、知識を深める。	医学 U3 (医学科)	3	144h
18		海外研究機関における基礎医学実習(ノースウェスタン大学)	アメリカ		ノースウェスタン大学	8/13-9/1	20	世界的に有名なアレルギー、免疫学研究室にて気道上皮細胞におけるtissue plasminogen activatorの発現メカニズムに関する研究を行う。研修を通して最先端のクオリティを維持するための日々の研鑽の場に触れるとともに、世界中から基礎研究を行うために留学してくる医師達の熱意を身近に感じることにより、研究者への将来像をより明確なものにする。	医学 U3 (医学科)	2	144h
19		IFMSA Research 交換留学プログラム	英国 ポーランド		カプラン・インターナショナル・オックスフォード ワルシャワ医科大学	8/13-10/1	50	語学学校での英語研修参加により基礎的な英語力を高め、ワルシャワ医科大学の生理学教室でラットの実験結果の分析を行う。日本及び海外の異なる見識を交えた意見交換により新発見を得るとともに、双方の特長を互いに認め合い学び合う有効な異文化・医学交流を通してコミュニケーションならびに異文化理解力を養うとともに、今後の学習においても多角的に研究を行う素養を身につける。	医学 (IFMSAより交換留学の許可を得た医学科生)	1	144h
20		海外研究機関における基礎医学実習(サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所)	アメリカ		サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所	8/22-9/20	30	PCRやサブローニング、ウェスタンブロッティング、免疫組織化学染色、マウス動物実験の手技を身につけ、分子生物学的手法や科学的な研究アプローチのノウハウを習得する。分子生物学研究と神経科学の最先端研究を英語圏で体験することで、新しい科学的発見に貢献できる医学研究者を養成する。滞在中は、一般家庭でのホームステイにより、英語コミュニケーション力と異文化理解力を強化する。	医学 U3 (医学科)	3	144h
21		チェンマイ大学との医学研修交流	タイ		チェンマイ大学	8/29-9/4	7	チェンマイ大学及び大学附属病院にて、授業の聴講や病院見学、医学実習を行う。また、大学関連医療機関への見学及び医療研修への参加を通して、熱帯地域の特異な感染症や疫学について実地で見聞を深めることにより、さらに深く現地の実際を習得する。また、プログラムの計画・実施を学生が主体的に行うことにより、主体性や問題解決能力を養成する。	医学 (医学科)	5	1
22		IFMSA Research 交換留学プログラム	スロベニア		リュブリャナ大学	8/30-9/30	32	リュブリャナ大学の研究室でテーマに沿った約4週間の研究を行い、最終週には研究発表会でその成果を発表しスタッフからフィードバックを得る。日本及び海外の異なる見識を交えた意見交換により新発見を得るとともに、双方の特長を互いに認め合い学び合う有効な異文化・医学交流を通してコミュニケーションならびに異文化理解力を養い、今後の学習においても多角的に研究を行う素養を身につける。	医学 (IFMSAより交換留学の許可を得た医学科生)	1	144h
23		金属加工分野でのグローバル人材育成	マレーシア		セギ大学	9/6-9/21	16	金属加工の基礎講義及び実習を経て、簡単な課題研究をセギ大学の学生と共に実施する。その成果について英語でプレゼンテーションを行うことにより、国や文化が異なる学生と協働し、専門的知識や能力を活かして問題改善・解決に向けた提案ができる能力を身につける。	工学 U4, M1, M2 (金属加工研究生)	4	2
24		英国の医療と高度実践看護師研修	イギリス		バーミンガム市立大学 レスター大学附属グレンフィールド病院 コベントリー&ワーウィック大学病院 セントクリストファーズホスピス	9/19-10/1	13	大学附属病院やホスピスでの見学実習や授業参加により、それぞれの領域における専門的医療・看護の実践について学ぶとともに、現地学生との交流を通して学習に対する姿勢や意欲に触れ、今後のモチベーション向上に繋げる。特に英国と日本における健康保険制度と医療サービスの特徴を理解し、各国の制度及びシステムにおける最高・最善の医療の提供について考察できるようになることを目指す。	医学部 (看護学科)	4	1
25	大学院教育プログラム-スプリングプログラム	中国		上海理工大学	3/5-3/18	14	本学大学院工学研究科への進学を予定する工学部4年生及び工学研究科生等を対象とした、大学院における国際性豊かな高度技術者育成のための導入教育。初級中国語・中国文化講座、英語・日本語による工学系専門講義、海外企業経営・技術論講義、海外インターンシップ等への参加を通して、語学力と異文化理解力の向上ならびに実践的・国際的な思考力の育成を目指す。	工学 U4以上及び 短プロ修了生 (本学大学院工学研究科進学予定者)	15	6	
26	実践・ インターンシップ型	オランダ長期インターンシップ	オランダ		フィリップス・リサーチ・ヨーロッパ(PRE)	3/30-10/3	188	PRE社との共同研究テーマについて、現地の研究者とともに基礎的研究の調査と実験を行い、視覚モデルを構築し、それに基づき光環境設計手法と照明器具を開発する。この実践を通して、科学を業務に橋渡しする研究プロセスを体得するとともに、国や文化を超えて高度な課題に立ち向かい、専門的知識や能力を活かして問題改善・解決に向けた提案ができるようになることを目指す。	工学 (大学院工学研究科 建築建設工学専攻、 プログラム担当教員 が認める者)	1	1
27		海外卒前臨床医学研修(オンドクズマウス大学)	トルコ		オンドクズマウス大学	5/13-6/25	44	オンドクズマウス大学附属病院にて臨床実習を行う。英語での日常的・専門的なコミュニケーション能力を強化するとともに、ムスリム国という異文化の中で国際感覚を涵養する。また、EU圏内の医療教育システムならびにトルコの地域医療システムを学び、地域格差の大きなトルコの地方都市で実際の患者に接し、身体的・精神的・社会的問題を適確に把握することにより、国際的な医療活動に関する基本的な知識、技能及び医師としての態度を身につける。	医学 U6 (医学科)	1	280h
28		インドネシアにおける熱帯医学・微生物学研究のフロンティア	インドネシア		アイルラング大学	7/17-8/6	21	前半1週間はソトモ病院での臨床研修、後半2週間は熱帯病研究所での基礎医学研修に参加し、微生物学研究の最先端(高病原性トリニフルエンザウイルス、新型の肝炎ウイルスなど)に触れるとともに、日本では経験できない熱帯ならではの感染症診療の実験を学ぶ。また同世代の医学生と交流することにより、国際的な意識の向上を図る。	医学 (「生体と微生物」を 履修済の医学科生)	1	144h/2
29	研究・発表型	異なる研究分野でのグローバル人材育成	台湾		国立成功大学	8/1-8/14	14	バイオデバイス、ナノ材料、細胞工学など、改めて自分の専門とは異なる分野の研究室に滞在し、現地学生とともに実験やディスカッションを行う。日々の研究活動や発表会への参加を通して、論理的に思考し、発表するプロセスについて学ぶ。また、異なる研究分野の知識・背景を持つ現地学生との議論を通して、自分自身の研究への理解を深め、その後の研究活動に対するモチベーションの向上に繋げる。	工学 U4以上 (工・薬・材料化学)	6	2
30			中国		天津工業大学	8/8-8/17	10			4	2
31			マレーシア		マレーシアアトラ大学	9/6-9/18	13			2	2
32			マレーシア		モナシュ大学	9/6-9/18	13			2	2
33			中国		浙江理工大学	9/11-9/20	10			2	2

No.	類型	プログラム名	国名	プログラム写真	派遣／連携先機関	期間	日数	プログラム概要	対象	参加人数	単位付与
34		テラヘルツ波について学ぶ実践的教育研究 研修プログラム	フィリピン		フィリピン大学物理学研究所	8/16-9/15	31	フィリピン大学物理学研究所にて課題研究に資する共同研究を実施するとともに、フィリピンで開催される国際会議で成果発表を行う。また、研修期間中にはデ・ラ・サール大学理学部も訪問し、デ・ラ・サール大学の教員・学生と交流する。これらの活動を通じて、国際的な研究者としての経験、知識、技能を養う。	工学 M1以上 (物理・電気、 一定レベルの 英語力を有する者)	2	2
35		化学分野におけるグローバル人材育成 のためのプログラム	アメリカ		ノースダコタ州立大学	8/17-9/2	17	英語で自身の研究成果を発表し、現地学生との研究内容を聞いて意見交換を行い、化学分野において世界でも最先端の研究を行う米国内での研究の進め方や発表方法について学ぶ。また、現地学生と共に化学分野の実験を行うことで、専門分野の知識・技術の向上に加え、外国語によるコミュニケーション力及び創造力を養う。	工学	2	2
36		フォトニクスに関する国際学会学生支部大会への 参加及び大学への訪問を通じた教育研究交流	アメリカ		カリフォルニア大学アーバイン校他	8/25-9/9	16	光工学やフォトニクス分野の世界的権威である国際光工学会の学生大会へ参加し、リーダーシップや組織運営などに関する講演を聴講するほか、他大学の学生とグループ討論や発表を行う。また、関連する学生支部のある大学を訪問し、支部相互の紹介や運営に関する相談、研究紹介などの教育研究交流を行うことにより、グループワーキング力や交渉力、実行力を身につけ、高度専門職業人としての専門性や創造性を高める。	工学 (光工学・フォトニクス 分野が専門の学生)	5	2
37			アメリカ		ロチェスター工科大学他	10/14-10/28	15			4	2
38		化学分野におけるグローバル人材育成 のためのプログラム	オーストラリア		ジェームズクック大学	8/28-9/4	8	ジェームズクック大学における研究発表や相手の研究内容に関する質疑応答等を通して、実験方法等について英語でコミュニケーションができる力を身につける。また、英語圏での研究の進め方、発表方法等を学び、斬新なアイデアの創出に繋げるほか、本学とオーストラリアの大学との化学分野における研究・人材育成の関係構築を目指す。	工学 (生物・材料)	3	1
39		原子力人材の国際性向上事業	チェコ		チェコ科学アカデミー原子力核物理研究所	10/1-12/21	82	国際的に評価の高い原子核物理学分野の総合研究所にて、「造血幹細胞の核内で形成されるDNA損傷の可視化による低線量放射線影響の解析」に関する研究を行う。研究テーマに関する知識・技術の修得、実験の実施及びスーパーバイザー等との議論により専門分野の理解を深めるとともに、国際学会で通用する実践的な英語力や実践力、問題解決能力を養う。	工学 (原子力・エネルギー 安全工学専攻、 優秀な学業成績・ 英語力・原子力分野 への就職意志を 有する者)	1	2
40	研究・発表型	海外大学での研究インターンシップ (オーストラリア)	オーストラリア		ビクトリア大学CESARE	10/28-2/7	103	ビクトリア大学附属の火災研究機関であるCESAREにて、火災の数値シミュレーションの基礎について学び、本学で実施したトンネル火災実験を対象とした数値シミュレーションを自ら実施、評価することにより、火災の数値シミュレーションの有効性と限界について体得する。また、その成果を踏まえて卒業論文概要を英語で執筆することにより、英語での発信力や論文執筆能力の向上を図る。	工学 U4 (平成28年度末 卒業予定者)	1	2
41		繊維・ファイバー工学コース 「アカデミックインターンシップ(海外)」	タイ		ラジャマンガラ工科大学	10/29-11/19	22	ラジャマンガラ工科大学イサン校の研究室にて、プラスチック成形加工や溶融混練による高分子材料の創製など、高分子成形加工に関する実験研修を行う。海外の研究室で研究指導・教育指導を受けることにより、新しい環境における対応力や英語によるコミュニケーション力を身につけるとともに、世界の人々と協働してグローバル社会に貢献できる高い専門能力の習得を目指す。	工学 (繊維・ファイバー 工学コース履修生)	1	2
42		西安オータムプログラム	中国		西安理工大学	11/3-11/12	10	西安理工大学にて開催される修士学生向けの研究課題中間報告会にて、自己の研究を英語で発表することで、実践的な英語力とプレゼンテーション力を習得し、現地学生との研究や研究に対する姿勢を知る機会とする。また、初級漢語や中国事情等の講義、文化施設や現地企業等へのフィールドトリップを通して、中国の歴史・文化に触れ、異文化理解を深める。	工学 U4, M1, 2	11	2
43		海外大学での研究インターンシップ (台湾)	台湾		国立成功大学	12/1-3/5	95	国立成功大学の研究室にて、バイオデバイスに関する基礎研究に従事する。約3か月間、海外の研究室で研究指導・教育指導を受けることにより、専門内容に関する議論やプレゼンテーションにおいて、英語での確かな論理的に表現する力を身につける。	工学 U4 (平成28年度末 卒業予定者)	2	2
44		テキスタイルの導電性コーティング技術 に関する研究	フランス		リヨン繊維・化学技術院	12/3-3/12	100	リヨン繊維・化学技術院にて、テキスタイルの導電性コーティング技術に関する研究に従事し、テキスタイルの特性を学ぶとともに、その加工技術及び評価手法を修得する。また、約3か月間、海外の研究室で研究指導・教育指導を受けることにより、専門内容に関する議論やプレゼンテーションにおいて、英語での確かな論理的に表現する力を身につける。	工学 U4 (平成28年度末 卒業予定者)	1	2
45		海外大学での研究インターンシップ (アメリカ)	アメリカ		カリフォルニア大学リバーサイド校	12/9-3/5	87	カリフォルニア大学リバーサイド校の研究室にて、バイオデバイスに関する基礎研究に従事する。約3か月間、海外の研究室で研究指導・教育指導を受けることにより、専門内容に関する議論やプレゼンテーションにおいて、英語での確かな論理的に表現する力を身につける。	工学 U4 (平成28年度末 卒業予定者)	1	2
46		バイオ電池／バイオセンサ用 バイオデバイスの構築	アメリカ		カリフォルニア大学リバーサイド校	1/27-3/4	37	カリフォルニア大学リバーサイド校の研究室にて、バイオ電池／バイオセンサ用バイオデバイスの構築のための実験ディスカッション、文献調査等の研究活動を行う。海外の研究室で研究指導・教育指導を受けることにより、専門分野のプロとしてグローバル社会の発展に繋がる具体的なモノや価値を生み出せる知識・能力を身につけるとともに、基礎的知識・教養を踏まえて世界の様々な問題を客観的に捉え、自分の意見を的確かつ論理的に表現する力を養う。	工学 M1 (繊維)	1	2